

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

25号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIG SUN RX 工法

熱血営業マン！
ダイニチくんの奮戦記

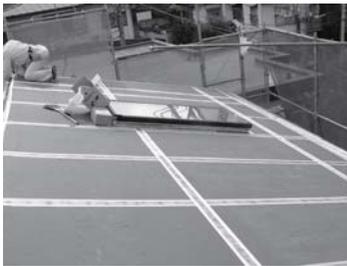
「おしやれな家
うわ...」

「コケマット」の
新しい緑化工法だよ

「すごいね！
屋上も壁も
コケで緑化
なんて！」

「日本のコケで
世界を緑化する
コケマット工法を
よろしく！」

ちょっと変わったビッグサンの使われ方



ビッグサンを発売して35年が経過し、樹脂と粉体を混合塗布するといった基本的な部分は変わっていませんが、お客様からのご要望を材料に反映すべく、少しずつ改良を重ねており、より使いやすく品質や性能も上げて参りました。

さて、今回ご紹介するビッグサンの使用例ですが、弊社の材料をよく指定

して載っている設計事務所の社長のご自宅です。採用理由は、立地場所が世田谷の閑静な住宅街ということもあり、特に溶剤などの臭いについては神経質なほどに気を使っておられ、ビッグサンは水系の為、溶剤臭も無く、火も使わず安全ということだそうです。こちらの本音を言うと、今回の様な使い方はお勧めしないのですが...

防水の仕様は、基本的にはビッグサンRB16工法ですが、戸建て住宅（木造）をまるごと包み込むという特別工法で対応しました。防水を施工した箇所は屋根や外壁だけでなく、内壁にも使用しております。ビッグサンRB16工法の防水層に使用する樹脂（SC1100）は、木工用ボンドの原料でもあるエチレン酢ビ樹脂を使っているのですが、木との接着は良いのですが

木パネルによってはコーティングされているモノもあり、そのコーティング剤が防水材と相性が悪い（接着を阻害する）ものもあるので、初めの打合せの段階で要検討しました。

次に、パネルのジョイント部の動きに追従する為、プチルゴムとクロスが一体化した「ビッグサン目地テープ」を貼り、またその上に少し大きめのクロス（ビッグサンクロスV）を補強の為に貼っております。従ってジョイント部は2重3重の補強をしております。また、明かり取り窓や開口部廻りなど細かな納まりが必要な箇所は、ウレタン系のシール材を併用し防水効果を上げてました。仕上げは遮熱トップを全面に塗布しました。

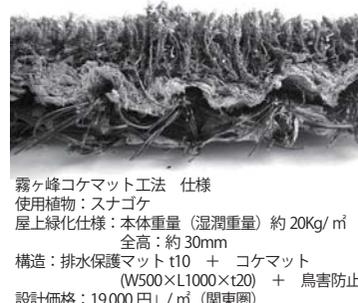


採用理由にもなっている環境に優しい、臭いが無いこと以外にも、木パネルが含んでいる水分に対して、水たまりを無くせる程度の下地水分ならば施工に全く問題がなく、また塗膜自体に湿気透過性があるため極端な膨れの発生が少なく、また、乾燥時間も短いなどのメリットがあります。

コケ緑化の広がりを国土交通省の統計で見ると、緑化場所の多用途化が進んだことに比例して、平成23年度は5年前に比べ施工面積が2.7倍に著実に増えてきています。現在主流の薄層軽量緑化の歴史を振り返ると、90年代に防水メーカーや建築関連企業を中心となりドイツのセダム緑化技術を中心に開発したシステムから始まり、緑化メーカーの技術進歩により完成された緑化工法になりました。

【1】全面にコケが密植したコケマット使用し施工
昔の生長は年2〜3cmと非常に遅く、製品として完成するまで1年以上の歳月をかけるり上げます。コケの緑化は、施工後は維持管理で緑化を継続するのが最も良い方法と言えます。そのためにも、時間をかけた信頼の品質品を使って緑化をいたします。

【2】コケが脱落しにくいメッシュコケマット使用し施工
土壌を使わないコケ基盤材コケの根は、水分や養分を吸収せず体が離れないだけの根のため、根張りが少なく、少しの力で外れやすい反面、厚さや土壌を必要とせず、コケの生育に適した自然環境に近い、突風や豪雨でコケが脱落しないメッシュ



霧ヶ峰コケマット工法 仕様
使用植物：スナゴケ
屋上緑化仕様：本体重量（湿潤重量）約20Kg/㎡
全高：約30mm
構造：排水保護マットt10 + コケマット（W500×L1000×t20）+ 鳥害防止ネット
設計価格：19,000円/㎡（関東圏）

ファイバーを利用し軽量一体化基盤に仕上げています。

【3】メンテナンス・セダム緑化で培ったメンテナンス技術
コケ緑化は外部からの強風・豪雨・日射し・受ける環境変化の最も大きい建築物の屋上・壁面などに施工されます。この環境は植物の生長に適さない環境が多く、放置すれば環境に適した状態まで植物生育が衰退することがあります。大日化成株式会社ではセダム緑化で培ったメンテナンス技術を使い、コケ緑化でも同様に、ダメージ快復、補修工事などのメンテナンスが出来る体制を用意しております。

新製品

霧ヶ峰 コケ緑化・コケマット工法

大日化成株式会社では10月よりコケ緑化システム「霧ヶ峰コケマット工法」を発売いたします。コケマット工法はこれまでの薄層軽量緑化のおよそ半分の約20kg/㎡と軽量かつ微で、土壌を使わないことから、ドレンの詰まりや土壌の飛散による汚れが少なく、壁面緑化にも、急傾斜の場所にも施工できる利点があります。

大日化成では、環境変化に強いスナゴケを綿密に生育したコケマットを使用し、湿潤重量20kg/㎡の超軽量を生かした「霧ヶ峰コケマット工法」を開発し、高品質コケマットと緑化技術融合したコケ緑化システムで屋上緑化・壁面緑化をご提供いたします。

大日化成株式会社ではセダム緑化で培ったメンテナンス技術を使い、コケ緑化でも同様に、ダメージ快復、補修工事などのメンテナンスが出来る体制を用意しております。

スカイレジン<下地調整材>
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T
水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です！

BIG SUN
<土木用防水材>
ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラピタルE-S
<運搬型軽量プロミックスモルタル>
コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ヶ峰シリーズ
節電できる壁面緑化を実現！



映画で学ぶ 環境問題



ていだかんかん
～海とサンゴと小さな奇跡～

監督：李闘士男
脚本：鈴木聡、林民夫
出演者：岡村隆史、松雪泰子
配給：ショウゲート
公開：2010年4月

「ていだかんかん」とは、沖繩の方言で「お日様がカンカン照り」という意味なのですが、この映画の主人公は、沖繩でサンゴの人工繁殖に成功した金城浩二（きんじょうこうじ）さんの実話を元にしたものです。

実在の金城さんは、沖繩県読谷村出身。ちょうど沖繩が日本に復帰した頃に生まれ、小さな頃から自然が大好きで、海や山をめぐって遊んでいたそうです。

そんな金城さんは、徐々に白色化するサンゴに心を痛め、順調に経営していたお店を譲渡し、1998年からサンゴのための活動を始めます。当初は、「環境より地元の発展や利益が優先」といった周囲の人から、批判され排斥されて大変な苦勞をします。

そのうえ、サンゴの繁殖は長年の研究者でさえ難しく、繁殖したサンゴから産卵を成功させるなど、夢物語と言われるほど、長い時間がかかりました。ようやく産卵を実現したのは、7年後。その間は、収入も少なく不安定で、借

金を重ねての生活だったため、奥さんやお子さんの苦勞も、かなりのものだったことでしょう。

本作では、その苦勞話の主人公を、お笑い人気コンビ「ナインティナイン」の岡村隆史がカラッと明るく演じています。彼を支える骨太の美人妻は松雪泰子が、周囲の支援者には吉沢悠など、さわやかな出演者がずらり。映画全体も非常にさわやかに見終わったあとはこちらまで元氣いっぱい、「ていだかんかん」な気分になります。

基本的にストーリーは、実話に準じており、岡村演じる金城健司（役名）は、サンゴのあるバーを4号店まで順調に経営させながらも、白色化するサンゴを何とか再生したいと、店を辞める決心をします。

サンゴの白色化とは、サンゴが死滅しているということで、その主な原因は、沿岸をコンクリートの岸壁などで開発していること、温暖化の影響などがあります。

閉店した店舗の中で水槽を並べ、無事にサンゴを再生させるものの、海に移植しなければ、何の意味もないことから、友人達と移植作業をおこなうのですが、地元の漁業組合は「サンゴが増えても儲からない」と猛反対。

その上、収入が無い中で生活は日増しに生活を圧迫し、借金も日増しに増えていきます。

長年協力をしてくれた友人の中には、金城の家族を想い、彼と対立する者も出て来ます。その上、支援を約束してくれた投資家が行方不明になるなど、スペインスではないのに、見ているこちらまで、やきもきさせられます。

裏切られ、バカにされ、落ち込み自暴自棄にもなる金城。しかし、神様は彼の熱意をくみ取ってくれました。

遂には世界初か、と言われるサンゴの人工繁殖と産卵に成功したのです。

これは紛れもなく、「人の熱意が奇跡を成し遂げる」サクセスストーリー！

全編に出てくる沖繩の海の美しさを感ずるとき、私達は「再生を無視した開発を悪だ」と、心に刻むことでしょう。

芸達者な岡村隆史は、職業俳優以上の演技力と存在感で、見る者の心を癒やします。ぜひお子様も含めて、ご家族でご覧頂きたい映画です。

手回し充電ラジオ

普段当たり前のよう「使い続けられている電機」災害時に停電した際どうするかの無に準備して、今のうちから準備しておくというときの役に立つと思います。

しかし電気をためておくと言うことは非常に困難です。東日本大震災の後では、全国的に乾電池が品切れになった事も覚えておられると思います。

今回はそういうときのために、手回しラジオを紹介したいと思います。この製品はラジオの他に、LEDライト、携帯電話への充電機能がついています。本体に回転させるレバーがついていて、1分間回すと約1時間AMラジオが聴けます。また、LEDライトは15分点灯できます。

災害時にラジオは非常に役立つ情報源です。から安心で、携帯電話への充電も出来るところが優れてきます。

東日本大震災の時も臨時で基地局を建て電話が使えなくなりましたが、バッテリーが切れては意味ありません。



せんが、この手回しラジオでは3キャリア・ソフトウェア・アップデート・ソフトウェア・アップデートが可能になっています。緊急時に家族、親戚の人は人と連絡が取れるのは非常に安心するものではないでしょうか。ほぼ全ての携帯電話に対応しているもので、少くも充電して困っている周辺の方々とは共有するのでもいいのではないかと思います。普段から手回しで携帯電話の充電に使ったり、懐中電灯、ラジオとして使うと強力なエコグッズです。会社に一台、自宅に一台と備えてみてはいかがでしょうか。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

営業部の松本哲也（しんぼんてつや）と申します。早いもので入社後、約20年となり中堅、いやベテランの領域となりました。

思い起せば今までにさまざまな経験もさせていただきました。入社後、約1ヶ月の研修終了後、営業2部（土木材料販売部門）に配属になりました。ここからが地獄の始まりでした。当時の営業2部は、トンネル掘削時の崩落防止用ウレタン注入材を販売してまいりました。材料販売という立場ではありましたが、この商品に関しては、工事に立ち会いながら販売するというスタイルでした。私は商品知識がほとんどない状態のまま中村部長と同行で、三重県尾鷲のトンネルの現場に入り作業をしていました。2日目途中から、急用ができた部長が大阪へ戻り、単独で約1週間昼夜関係なく勤務しました。疲労困憊し、途方不明でいた時、台風が接近し現場作業が中止となり私にとって初めてのトンネル現場での研修は終了しました。

次なるミッションは、緑化です。異業種交流会、「コンクリートに緑を」というテーマで、セダム植物を、中央分離帯やコンクリート擁壁に根付かせたら、面白いという事で、研究活動を開始しました。とにかく開発当時は、植物の特性が分からず、植物の衰退、枯れ等いろいろ経験し、そのたび観察を繰り返しました。ある施工現場で、1ヶ月に一度、約5kmの区間の中央分離帯の植物を観察しまし

た。植物の四季毎の成長と衰退、また、日陰、踏み荒らし、雨水等の影響など、施工時期、メンテナンス方法、施工環境、天候などにより、植物は、さまざま顔を見せました。その経験が現在の屋上緑化資材販売につながっています。

現在、新型ビッグサンの商品開発を技術部の吉村君が行っています。私は開発中の商品を施工店に試験施工をしてもらい、その感想を技術部にフィードバックしています。

新型のビッグサンを全国で使用してもらおうという仕上げていきたいと思っております。今後とも、ユーザーに愛される製品を作り続けます。よろしくお祈りいたします。



営業部 松本 哲也

次号も
お楽しみに



URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803